

江戸川区議会 みんなの党 みんなの区政報告

2011年 総まとめ

ーしがらみゼロ、是々非々の私達だけが「聖域なき削減」を断固として求めることができますー

第三回定例会議会速報!!

- 区民の悲願であった「歩行喫煙及びポイ捨ての防止等に関する条例」が議員提案にて、全会一致で可決となりました。これまで23区で江戸川区だけがなかったこの条例ですが、条例制定に伴って、より一層環境美化の促進に期待が持てるようになりました!!
- みんなの党は、平成22年度一般会計決算に対して未曾有の財政難にある中、歳出削減へ十分に改善の余地ありと判断し反対をしました。

「区民の命と生活最優先! 天下りも許しません。」

放射能対策を求め、いち早くアクションおこしました

5月26日、どの会派より先んじ「学校校庭等における放射線量測定に関する緊急要望書」を区長へ提出。江戸川区では、放射能問題に対応する一本化した方針、組織が未だできていません。今後も放射能に影響を受けやすい、赤ちゃんや妊婦さん(毎年6000人が出生)と子ども(年少人口9.5万人)が東京都で最も多く暮らす江戸川区での率先した取組を要求します。

江戸川区公式 Twitter の設置に貢献

震災時、帰宅困難となった区民へ向け、積極的に Twitter で情報発信しました。その経験を生かし、江戸川区と区民へ公式 Twitter の必要性を訴え実現が叶いました。

ホントに民活? 「えどがわ環境財団」新理事長に前土木部長就任を追求!

3月に退職したばかりの前土木部長が816万円の新理事長に就任。民間の平均給与400万円に比べ破格に高額であり、天下りともとられかねない人事を指摘。「問題ない」という区長答弁に唖然としつつ、民間人の採用を重ねて求めました。財団には今後も注目を!

年間相談者たったの8人!? 補助金総額2.5億円社会福祉協議会の存在意義を問う

「苦情解決相談事業」に寄せられた相談件数は、70万都市というのに、たったの8人、成年後見制度利用は僅か18件。局長・次長が元区職員、再任用・再雇用5名、現職職員も派遣中。管理ポストも含め、民間人を登用し組織を活性化することを提案しています。

学童クラブ長期休暇中の8時間所に向けて新しい動き!

上田の政策でもあり当選以来提言してきた8時間所に向けて決算委員会でも要求。実施しないというこれまでの答弁から、「区民の要望を受け、現在検討段階に入った」との回答を得ました。あと一息です!

江戸川区議会議員

上田 令子 幹事長

www.ueda-reiko.com

Reiko Ueda

65年生。台東区立黒門小、都立三田高、白百合女子大卒。外資系生保を経て起業。

99年、子育て応援団「江戸川ワークマム」設立。母子支援に関する国・都・区の各種委員を歴任。11年区議会史上新記録の1.2万票でトップ当選。義父母、夫、高校生・小学生の息子と三世代同居。趣味：火中の栗拾い。



今年を締めくくる

みんなの党江戸川区議団
「区政報告会」開催!

「日本&江戸川区の夢と明るい希望を描く! みんなの党!」

日時: 平成23年11月26日(土) 18:30 開場 19:00~20:30

場所: タワーホール船堀 5F 小ホール

会費: 無料

TVや新聞でお馴染みのあの! スペシャルゲストも登場予定!

お楽しみにご参加下さい。

『子どもと高齢者に寄り添い真心で支えます』

●江戸川区の学力向上に向けて尽力中

学力偏重にならずに江戸川区の学力・教育力向上に取り組んでいます。具体的に、実現へむけ長期計画「えどがわ新世紀プラン」の見直し年度にあたり、学力・教育力向上を盛り込むことを求めています。

●新しい発想で防災対策を提案

江戸川区は高潮や津波の被害を受けやすい低地です。遠くの避難場所より近くの5階建て以上のビルを避難場所に指定できるよう一般質問で取組を求め、推進を促しています。

●待機要介護者の解消はご家族も救います

約千人規模と言われている要介護認定者の後ろにはその看護をされる方がおいでです。家族の負担を軽減して施設入居待機を解消するため、専門施設の受け入れ者拡充を図ります。

●高齢者の私有財産を守るため成年後見事業の改善を

後見される熟年者と後見人の関係は第三者には見えにくい部分があります。後見人が適正に役割を果たしているかをチェックする制度の創設、を提言します。

江戸川区議会議員

ふかえ 一之 副幹事長

<http://fukae.me/>

Kazuyuki Fukae

51年生。私立日出学園小、立教中・高・大卒。大卒後、地域に根ざした企業経営を
実践、本一色小、上一色中PTA会長、小学校PTA連合会長等を歴任。

平成11年、15年二回の当選経験。23年復活を果たす。

趣味：野菜づくり、ゴルフ。



『税金の無駄遣いを徹底検証！』

●たかが文具、されど文具！民間企業並の集中管理を

事務用品・コピー用紙等の購入も、一円でも安く購入すべきであり、現在江戸川区の購入は一括管理されていない状態です。これを、部署をまたぎ全庁舎としての一括購入、入札制度を利用するなど、限りある大切な税金の使い方を指摘、今後も正していきます。

●強引ともとれるスーパー堤防事業にちょっと待った！

国の事業仕訳の結果も踏まえ、長期の多額な土木事業費が財政に与える影響を考慮した事業の再検証し、他の堤防強化策を検討するという第3の道を模索することを求めています。あわせて、正確な情報提供をし再度区民の意思を確認すべきです。社会は合意と契約のもとに成り立つ！

●ハコモノ事業は新設・管理から節減・運営の時代へ

ハコモノ行政は、造り続けたものを管理するだけでなく、将来にわたる維持修繕費を考慮し、合理的に運用すべきです。固定経費、施設新設等無駄な税金の使途を削減するように求めています。

●福祉はセーフティネットの充実と効果的な投資を

高齢者が大浴場に親しむ「くつろぎの家」は、清掃工場の余熱というエコなエネルギーを活用しています。他の生きがい事業とも集約し効率化した施設への改築を求めます。これは雇用促進、エネルギーの再利用、収益をあげられる施設などの効果を狙いとしています。

江戸川区議会議員

ます 秀行 幹事

www.masu-hideyuki.com

Hideyuki Masu



75年生。私立八王子高、関東学院大卒。メーカー等民間企業勤務を経て江戸川区へ。もっと自慢のできる街づくりを目指し「みんなでつくろう江戸川区の未来」設立。自治体コストを削減し、国民の豊かな生活実現を目指す「地域主権型道州制国民協議会」江戸川区支部長。左利き。

